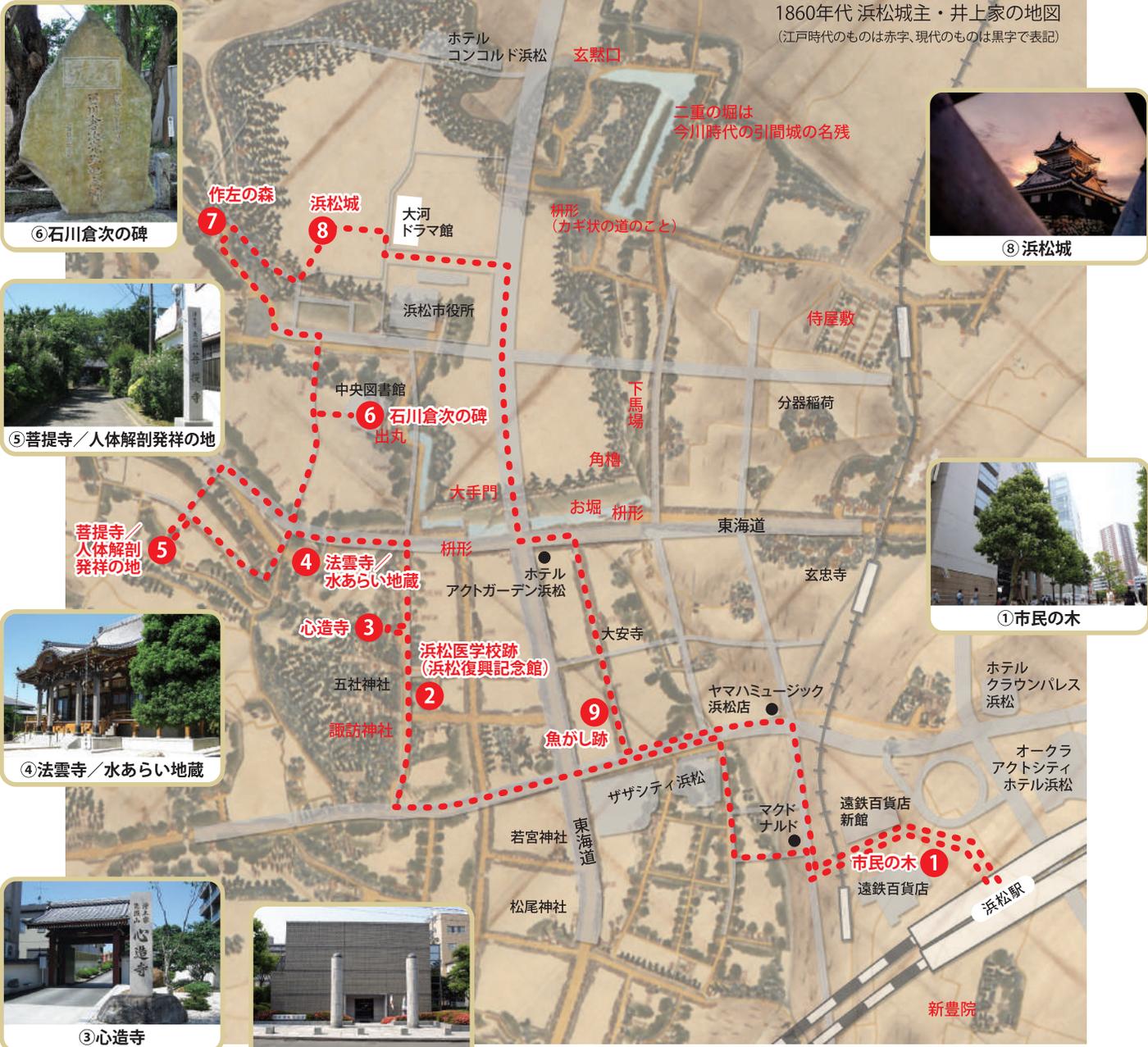


# 浜松と医学のストーリー～浜松近代医学の聖地～

約4.6km 約1.5時間 約280kcal

※所要時間に見学時間は含まれていません。

1860年代 浜松城主・井上家の地図  
(江戸時代のものは赤字、現代のものは黒字で表記)



⑥石川倉次の碑



⑤菩提寺／人体解剖発祥の地



④法雲寺／水あらい地蔵



③心造寺



②浜松医学校跡(浜松復興記念館)



⑧浜松城



①市民の木

## ①市民の木

戦災で枯れ死寸前となった  
プラタナスを地元民の努力  
によって再生。昭和39年に  
「市民の木」と命名された

## ②浜松医学校跡 (浜松復興記念館)

浜松医学学校長・太田用成ら  
が米国の医学書を翻訳し、  
日本初の西洋医学書を出版。  
解剖、生理、化学、薬学、  
内科、外科、産科の7科  
で「七科  
約説」と  
名付けた



浜松市博物館蔵

## ③心造寺

徳川秀忠を産んだ西郷の  
局が開いた寺。現在、遠江  
四十九薬師の二十二番札所  
で、目の治療にご利益があ  
るとされている

## ④法雲寺／ 水あらい地蔵

藩校の「経誼館」「克明館」  
の跡に旭町から移転。東側  
に若槻礼次郎書、昭和6年  
建立の記念碑「偉大も協力  
一致之功」がある。境内に  
ある水あらい地蔵に水をか  
けて患部と同じ部分をなで  
ると、治るといわれている



web上で当コースを  
ご覧になる場合は、  
こちらからご覧ください。

## ⑤菩提寺／ 人体解剖発祥の地

家康の甥・松平忠頼が両親の  
冥福を祈るために開いた。菩  
提寺には浜松で最初の人体解  
剖に遺体を提供した長谷川直  
盛(士族)と藤井仙十の墓が  
ある

## ⑥石川倉次の碑

日本点字の考案者。安政6  
年、現在の鹿谷町で生まれ、  
31歳のときに点字選定会で  
石川倉次の案が採択された。  
11月1日は点字の日

## ⑦作左の森

本多作左衛門は大正3年、長  
篠の戦いの陣中から、ここに  
居住していたであろう妻子の  
健康を気遣って「一筆啓上 お  
仙泣かすな 馬肥やせ」の手紙  
を送った

## ⑧浜松城

徳川家康が17年間居城。  
食事は玄米食に大豆味噌を  
中心とした粗食で、薬は自  
ら調合したといわれる

## ⑨魚がし跡

魚屋や乾物屋などが立ち並  
び、お城の台所として栄え  
た。近くにある大安寺の西  
の市では、美容と健康に良  
い甘酒が振る舞われる